

東京繪入新聞



裏見富士女西行

中村福助作
久保田彦作校合

先以御具首様方内機嫌克恐院至極奉
存升随申私儀昨年中疾氣又既大患可申の所
大医方方劑相應加松本大医差面大磯海水浴りて
暫く保養仕り効驗依り再び何れ目通り致し升実
冥加至極難有仕合奉存升扱大磯入浴中徒然の余り日々數平町
宛遊歩仕り折柄不斗承り小奇談へ同地出生の女子ふりて
成長の江戸へ罷出種々の悪行の末天網を罹り重き所刑
臨み此者常々歌道の心懸り
一首の和歌詠せ故にも危き
命を右歌の徳を助り爰
戰悔つてあり彼鷲立
沢の古蹟西行庵を臨
終に遂にこの里人
西行も吉号け夜話の
料致し私覺
致し所持罷在
久保田彦作
氏見せ
恰も東京
繪新聞の依頼
の同氏校合の上
投書然るの勸め余義の草稿を贈り升私
免れ同新聞の愛顧の諸君次私ひおの
方様幸ひ高墮下さる難有奉存升則ち
像上の挿画の毒婦お三度安を換升と体と評判

在俣口上

此者常々歌道の心懸り
一首の和歌詠せ故にも危き
命を右歌の徳を助り爰
戰悔つてあり彼鷲立
沢の古蹟西行庵を臨
終に遂にこの里人
西行も吉号け夜話の
料致し私覺
致し所持罷在
久保田彦作
氏見せ
恰も東京
繪新聞の依頼
の同氏校合の上
投書然るの勸め余義の草稿を贈り升私
免れ同新聞の愛顧の諸君次私ひおの
方様幸ひ高墮下さる難有奉存升則ち
像上の挿画の毒婦お三度安を換升と体と評判



お書橋
芳後画



發行所 東京橋本區尾張町二丁目二十番地
東京繪入新聞文社
編輯人 石川新一

裏見富士女西行口上 文庫10-8216

